

鹿児島森林管理署管内 国有林の概要

令和5年度版



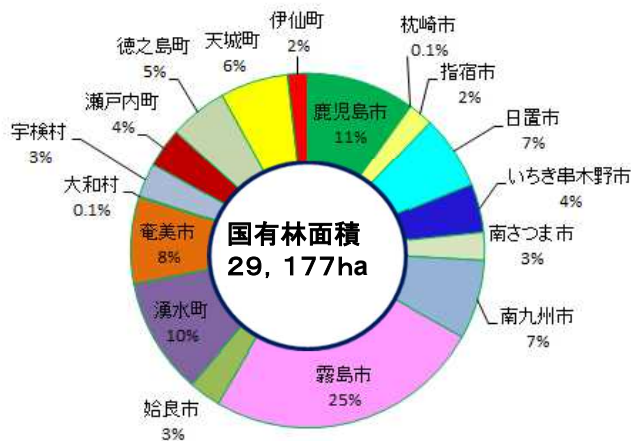
九州森林管理局
鹿児島森林管理署

私たちみんなの森林「国有林」

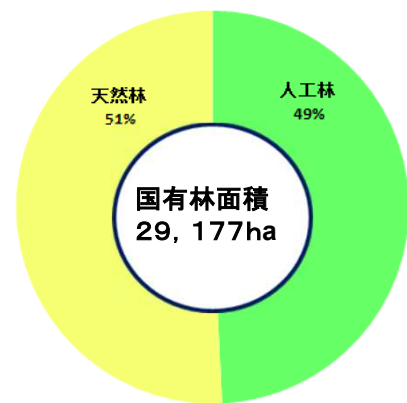
鹿児島森林管理署は、始良、南薩、奄美大島流域に広がる29,177haの国有林野を管理経営しています。

60万人都市、鹿児島市などの水源の涵養のために重要な森林や多様性に富み豊かな生物の遺伝資源の保存を図るための霧島山生物群集保護林など貴重な自然環境及び栗野岳などレクリエーションエリアがあります。地球温暖化の防止や生物多様性の保全をはじめとする多くの方のニーズに応えた管理経営に取り組んでいます。

管内図



国有林の市町村別分布

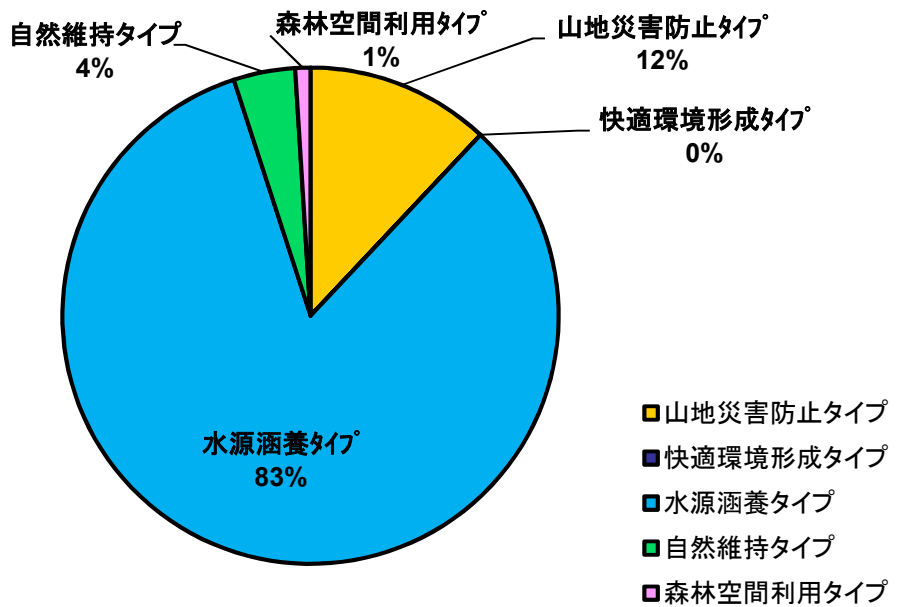


国有林の人天別面積

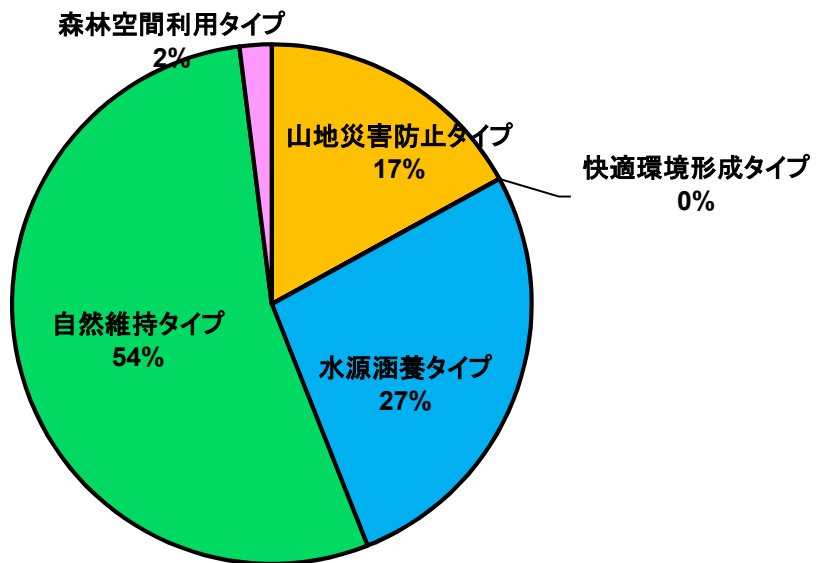
国有林野の管理経営については、林産物の供給に重点を置いたものから公益的機能の維持増進を旨とするものへと転換することとし、主たる管理経営の目的とこれに応じた森林施業上の類似性、管理経営の効率性等の観点から個々の国有林野を山地災害防止タイプ、自然維持タイプ、森林空間利用タイプ、快適環境形成タイプ、水源涵養タイプの5つに区分して、それぞれの森林の機能の発揮に資する森林施業を実施します。

機能類型別（タイプ別）割合

人工林



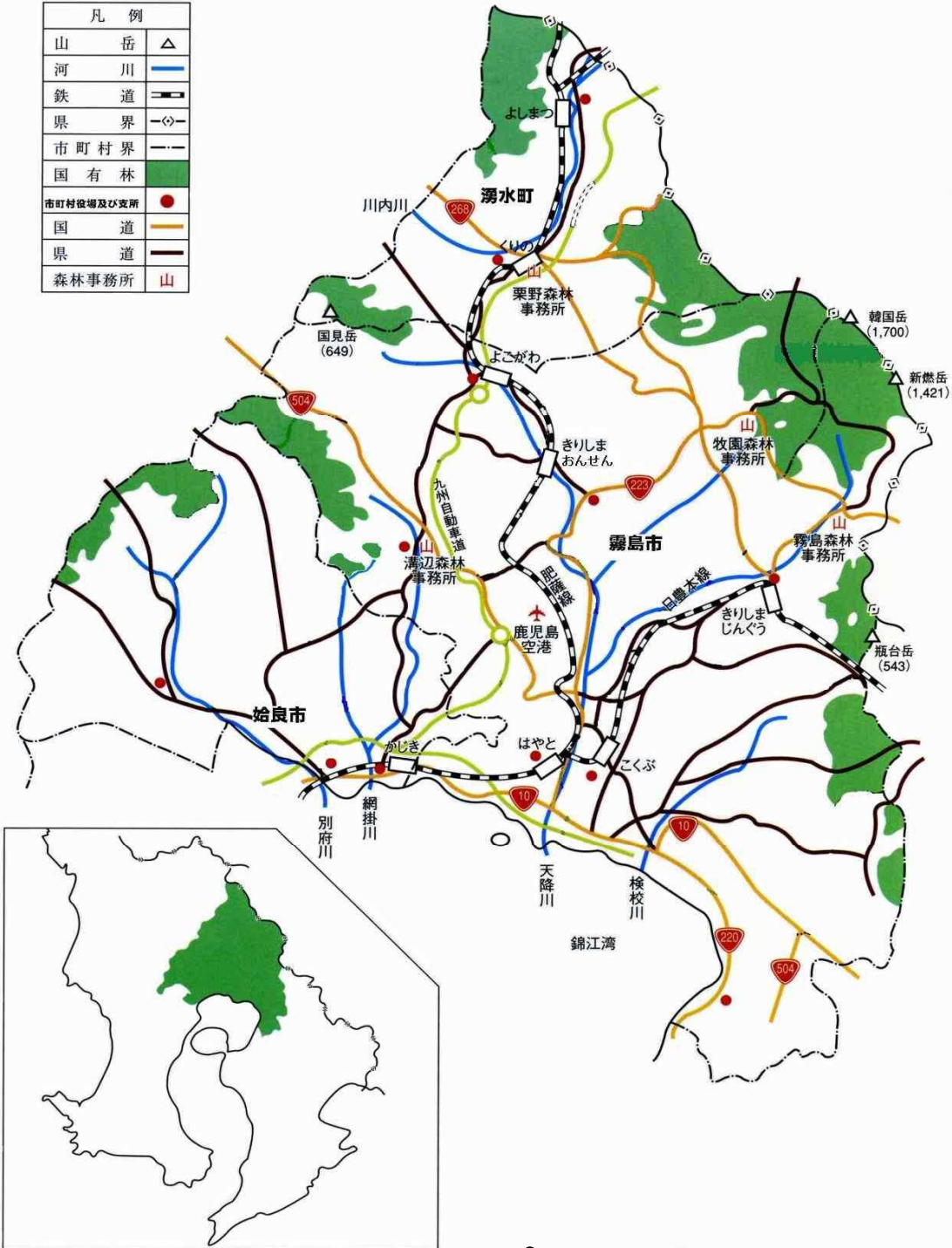
天然林



始 良 流 域

始良流域は鹿児島県の北東部に位置し、霧島市、始良市、湧水町の2市1町からなり、区域面積は97,872ha、県総面積の11%を占めています。流域の森林総面積は66,530ha、国有林面積は11,155haとなっています。

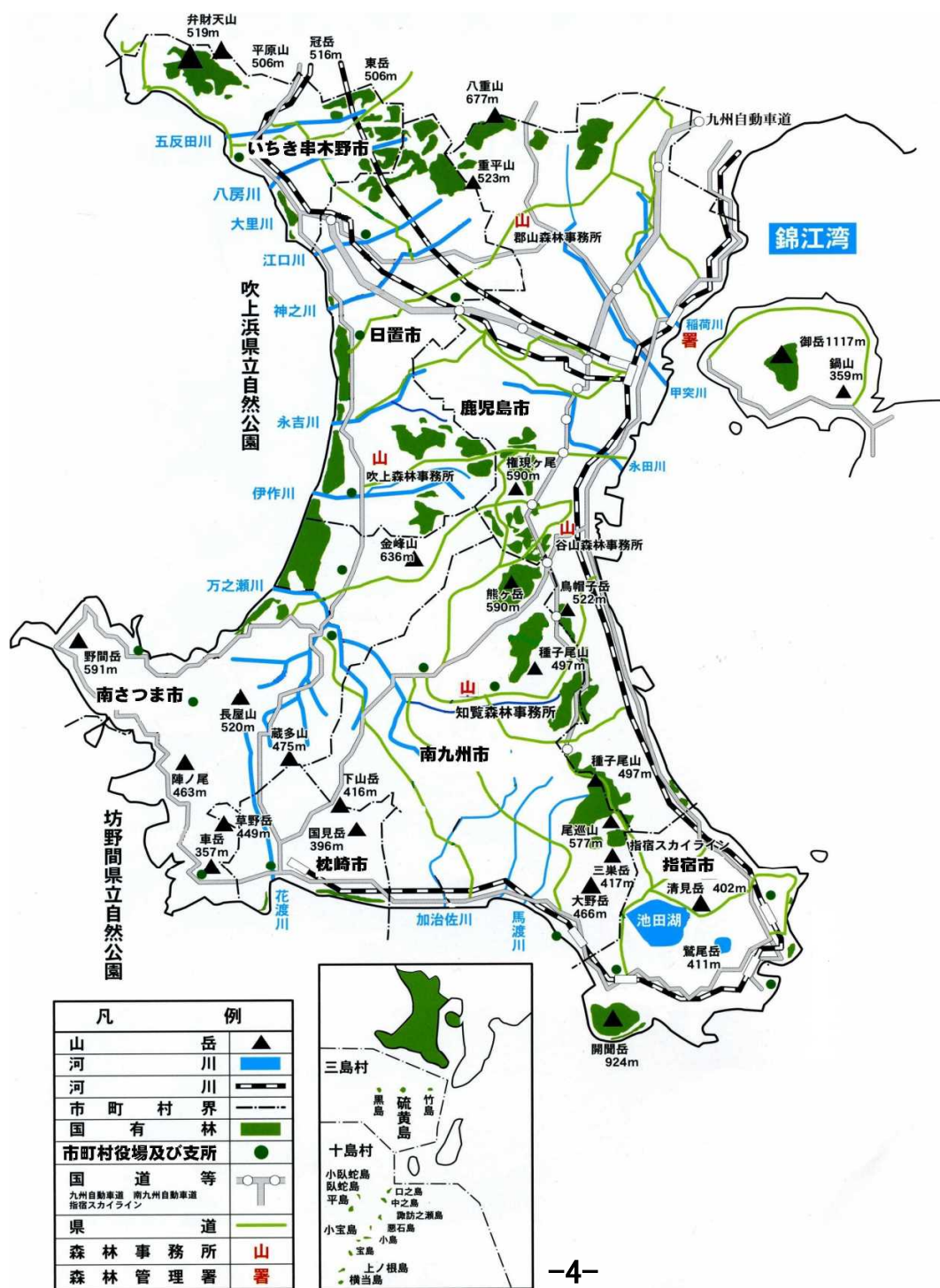
スギ、ヒノキの人工林、霧島山周辺の霧島アカマツなどが特徴的で、霧島連山は霧島錦江湾国立公園にも指定され、登山者など利用者の多い地域となっていることから、木材生産と併せて優れた自然環境を有する森林の保全等に努めています。



南 薩 流 域

南薩流域は鹿児島県の南西部に位置する薩摩半島とトカラ列島からなり、鹿児島市、いちき串木野市、日置市、南さつま市、枕崎市、南九州市、指宿市、三島村、十島村の7市2村からなり、区域面積は191,052ha、県総面積の21%を占めています。流域の森林総面積は107,890ha、国有林面積は9,899haとなっています。

スギ、ヒノキの人工林、日本三大砂丘の1つである吹上浜周辺のクロマツ人工林などが特徴的で、防風、防砂などの保安林機能等の公益的機能発揮が求められています。



公益重視の管理経営の一層の推進

森林に対する国民の要請は、国土の保全や水源の涵養に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全等の面で期待が高まるなど、更に多様化しており、また、国有林と民有林を通じた公益的機能の発揮が強く期待されています。

このため、国有林野事業では、公益重視の管理経営を一層推進するとの方針の下、重視される機能に応じた管理経営を推進するとともに、地球温暖化防止対策の推進、生物多様性の保全、民有林との一体的な整備・保全に取り組んでいます。

重視される機能に応じた管理経営の推進

公益的機能の向上に配慮した施業を行っていく必要があります。このため伐採林齢の長期化、林齢や樹種の違う高さの異なる複層状態の森林の整備、小面積・モザイク的配置に留意した施業、針葉樹と広葉樹の混交を促進する施業等に取り組んでいます。



民有林と連携した施業の推進

木材安定供給体制の整備等の施策の推進に寄与するよう計画的に供給することにより、木材等生産機能が発揮されます。人工林の多くがまだ間伐が必要な育成段階にある一方、伐採適期を迎えた高齢級の人工林が年々増加していることから、将来的に均衡が取れた年齢構成としていくとともに、公益的機能の向上に配慮した施業を行っています。



地球温暖化防止対策の推進

地球温暖化の進展に伴い、集中豪雨等に起因する山地災害の増加、松くい虫被害の拡大、生物の生育・生息環境の変化等が懸念されており、森林吸収源対策として、二酸化炭素の吸収・固定に貢献する健全な森林の整備・保全や木材利用の促進等に取り組んでいます。



森林資源の循環利用による多面的機能の維持増進

鹿児島森林管理署の国有林野の約半分は人工林であり、これら人工林については着実に資源が充実し、利用期を迎えています。

このため、引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再生林を計画的に推進します。

こうした取組を通じ、森林資源の循環利用を行いながら、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、地球温暖化対策における森林吸収源対策にも貢献します。



森林資源の循環利用のイメージ

大規模木造建築の拡大や新たな部材の開発等

木材を多く使った施設では、インフルエンザにかかったり、転んで骨折をしたりするケースが少ないという報告や木の香りにはリフレッシュ効果や鎮静効果等があり、木造の室内が鉄筋コンクリート造の室内と比べて気力の減退が少ないなど、健康や精神面に良いという報告もあります。

学校や体育館(スポーツ施設)など大規模施設に地元の木材が使われています。

さらに、中高層建築の木造化を可能にするCLT(直交集成板)の開発・普及も進められています。



CLT構造見学会(始良市)



直交集成板 (CLT)
(1m×3m×厚さ18cm 約220kg/枚)

優れた自然環境を有する森林の保全

保護林の保全・管理

貴重な野生動植物が生息・生育する森林などを保護林に指定し、その保護・保全に努めています。

鹿児島森林管理署管内の国有林野には、霧島山生物群集保護林（1,905ha）をはじめ、川添タブノキ等遺伝資源希少個体群保護林（79ha）のほか、平成24年度には奄美群島森林生態系保護地域（4,820ha）、奄美群島アマミノクロウサギ等希少個体群保護林（1,334ha）を設定しました。



霧島山生物群集保護林



奄美群島森林生態系保護地域

生物多様性の保全

奄美群島の森林生態系は、世界的にも局所的にしか成立しない亜熱帯性常緑広葉樹等により構成されるとともに、数多くの分布限界種及びアマミノクロウサギやルリカケス等の大陸遺存種が生息しています。

「奄美大島・徳之島・沖縄島北部・西表島」の4島は令和3年7月に開催された国連教育科学文化機関（ユネスコ）世界遺産委員会において、世界自然遺産登録が決まりました。

「奄美群島森林生態系保護地域」においては、各種調査を行うとともに、保全管理計画を策定し適切な森林生態系の保護管理に取り組んでいます。



ルリカケス



アマミノクロウサギ

地域の暮らしを守る治山・保安林事業

治山事業・保安林の整備

水源のかん養や土砂の崩壊の防備等が特に求められる森林は「保安林」に指定し、適切な森林の整備に努めています。

鹿児島森林管理署が管理する国有林野のうち90%が保安林に指定されており、これらの保安林では、その機能を維持増進するための整備及び災害を防止するための「溪間工」等を実施することにより、崩壊地を森林に復旧する「治山事業」を推進しています。

特に、鹿児島市の桜島において、地域住民が安心して生活できるよう計画的に民有林直轄治山事業を実施しています。



施工困難地で山腹緑化を促す航空実播工(桜島)



土石流を抑制する溪間工(桜島)

海岸保安林の保全・整備

南薩流域の吹上浜を中心とする海岸保安林における、松くい虫被害拡大を最小限にとどめるため、地元意見を踏まえ、連携を図りながら防除事業を実施しています。

なお、海岸保安林等の整備を計画的に実施し、防災林機能の充実に努めています。



住宅や農地を守るマツ林



松くい虫特別防除【空中散布】

民有林と連携した森林整備・人材育成

民有林と連携した施業の推進・人材育成への貢献

県・市町村の民有林担当部局と協力して、林業の成長産業化に貢献するよう管理経営に取り組みます。また、林業を成長産業へと導くためには、適切な森林整備の実施や木材の安定的な供給に加え、これらに係る新たな技術の普及等が重要であり、それらを推進するための人材の育成も不可欠です。そのために、企業・大学等と連携し、国有林のフィールドを活用しながら人材育成等に取り組みます。



次世代林業を考える意見交換会



鹿児島大生による収穫調査等研修

森林・林業活性化協議会等への取組

民有林行政と国有林行政が連携して取り組むことにより鹿児島県の林業振興に寄与することを目的とした林業振興協議会や各地域の林業の活性化を図るために森林・林業活性化協議会等が設置されています。

これらの協議会では、森林管理署、県、市町村をはじめ、多くの関係者が参画し、地域の林業の活性化に取り組んでいます。



鹿児島県森林・林業振興大会



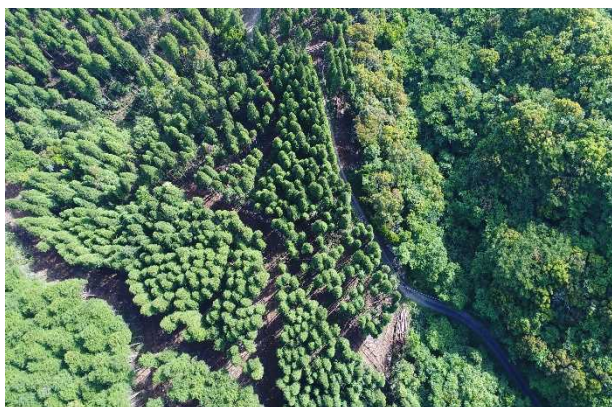
民団連携による植樹祭

森林・林業の再生に向けた展開

地域と連携した主伐・再造林の推進

森林資源の循環利用、多面的機能の持続的な発揮を図るため、地域と連携した木材の安定的な供給や苗木の需給調整、事業量の公表等、各種プロジェクトに参画しながら、必要な方策の検討・調整・実施を行い、主伐・再造林の推進に取り組めます。

特に、森林資源の循環利用を促進するための木材生産の効率化・低コスト化や間伐、再造林の推進など取り組みを総合的かつ一体的に推進します。



間伐の推進



伐採後の再造林

地域のニーズに対応した木材の供給

一般材や木質バイオマス用原料など多様な木材需要に応じるため、立木販売を計画的に実施するとともに、国産材の需要拡大に取り組む製材工場等に対し、安定供給システム販売等により木材を供給します。



高性能林業機械による木材生産

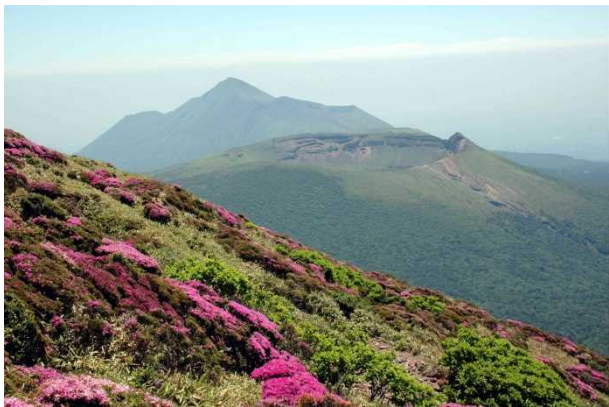
シカ被害対策

主伐・再造林を円滑かつ着実に進めるため、シカ被害防止対策を含めたトータルコストの軽減が喫緊の課題です。罠の設置による捕獲や地元猟友会と協定締結による罠の貸し出し等、地域と連携したシカ被害対策に取り組んでいます。



くくり罠捕獲講習会

管内の景勝地・名所等のご案内



霧島連山（霧島市）



九州自然歩道（霧島市）



ノカイドウ（霧島市）



ヒガンザクラの自生南限地（湧水町）



栗野岳からの眺望（湧水町）



桜島（鹿児島市）



開聞岳（指宿市）



八瀬尾の滝（南九州市）



湯湾岳（宇検村）



ヒカゲヘゴ（奄美市）



オキナワウラジロガシの板根
（天城町）

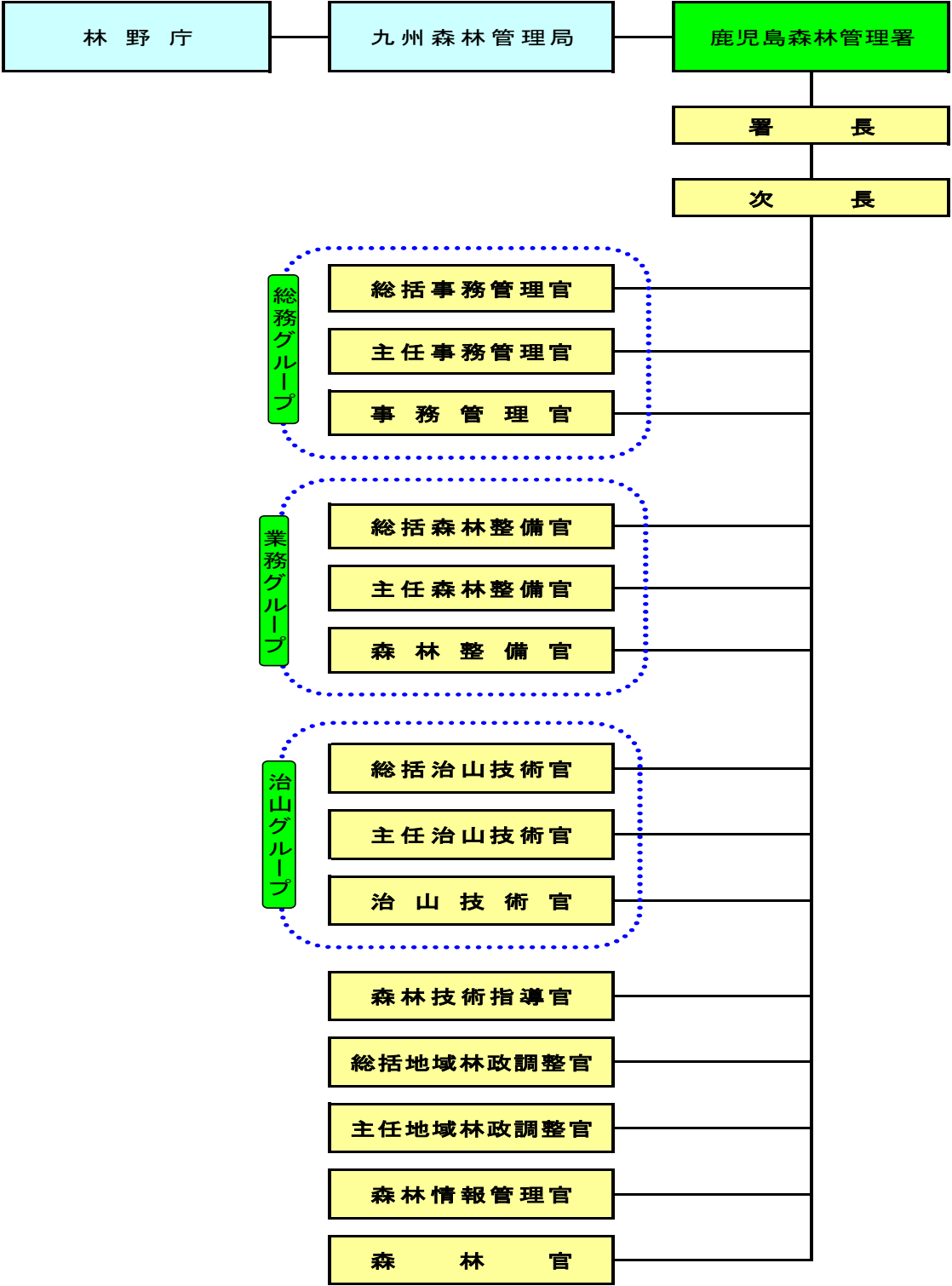


奄美群島森林生態系保護地域（奄美市）



シマオオタニワタリ（瀬戸内町）

鹿 児 島 森 林 管 理 署 組 織 図



※1 総括地域林政調整官は代表署にのみ設置
 ※2 森林官には地域統括森林官、首席森林官、森林官を設置

鹿児島森林管理署の歩み

明治12年(西暦1879年)	内務省山林局新設, 鹿児島山林事務所設置
明治19年(西暦1886年)	大林区署官制発布, 鹿児島大林区署設置
明治26年(西暦1893年)	鹿児島大林区署を熊本大林区署に統合
明治30年(西暦1897年)	熊本大林区署を熊本, 鹿児島に分割
大正13年(西暦1924年)	熊本営林局鹿児島営林署に改称
昭和57年(西暦1982年)	大島営林署を鹿児島営林署に統合し, 鹿児島営林署大島営林事務所となる
平成11年(西暦1999年)	組織の再編により鹿児島営林署は加治木営林署と統合改組し 鹿児島森林管理署, 加治木事務所となる
平成13年(西暦2001年)	加治木事務所, 大島営林事務所廃止

森林事務所の管轄する担当区域、面積等

単位：h a

森林事務所	国有林野面積	官行造林面積	国有林野等所在市町村
谷山 (知覧)	2,076.14 (3.27)	20.16	鹿児島市、枕崎市、南さつま市、南九州市
	2,877.35 (0.54)		鹿児島市、指宿市、南九州市
郡山 (吹上)	3,088.27 (0.03)	10.32	鹿児島市、日置市、いちき串木野市
	1,898.17 (0.22)		日置市、南さつま市
名瀬 (宇検)	2,210.62 (53.76)	44.70	奄美市
	1,887.20 (153.21)	35.83	大和村、宇検村、瀬戸内町
徳之島 (天城)	2,025.05 (1.98)		徳之島町、伊仙町
	1,792.74 (0.05)		天城町
溝辺	2,051.69 (0.06)	42.09	霧島市、始良市
栗野	3,185.34	74.39	霧島市、湧水町
牧園	2,264.72 (16.67)	181.18	霧島市
霧島	3,450.25 (12.30)	10.79	霧島市
合計	28,807.54 (242.09)	419.46	

※ 国有林野面積の()外書きは不要存置林野面積

お問い合わせ・緑の相談窓口

森林管理署等	郵便番号	所在地	電話
九州森林管理局	860-0081	熊本市西区京町本丁2番7号	096-328-3500
鹿児島森林管理署	892-0812	鹿児島市浜町12-1	099-247-7111 050-3160-6250
溝辺森林事務所	899-6401	霧島市溝辺町有川699-67	0995-59-2236
栗野森林事務所	899-6201	始良郡湧水町木場775-5	0995-74-2054
牧園森林事務所	899-6603	霧島市牧園町高千穂字丸尾3930	0995-78-4690
霧島森林事務所	899-4201	霧島市霧島田口2465-20	0995-57-0065
谷山森林事務所	891-0133	鹿児島市平川町852-1	099-261-9488
郡山森林事務所	891-1105	鹿児島市郡山町22-2	099-298-3552
名瀬森林事務所	894-0015	奄美市名瀬真名津町1-17	0997-52-4531
徳之島森林事務所	891-7101	大島郡徳之島町亀津7111-2	0997-82-0027

九州森林管理局ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/> e-mail:rinkuma1@kyusyu.kokuyurin.go.jp
(森林管理署等のホームページは、九州森林管理局のホームページからご覧いただけます。)



鹿児島森林管理署